

社会ネットワーク型産業育成③ー東三河ビジネスプランコンテストー

Social Network Industrial Development:
Business Plan Contest in HIGASHI MIKAWA Region

* 片岡眞吾¹ 中野和久²

豊橋創造大学: 〒440-8511 愛知県豊橋市牛川町松下20-1

(株)サイエンス・クリエイト: 〒441-8113 愛知県豊橋市西幸町字浜池 333-9

概要: 地域社会はこれを構成する行政と産業そして市民の三者のネットワーク社会といえる。社会ネットワーク型産業育成では、起業家の構想力や思いもつかない事業遂行過程を生み出す独創性ととも、その起業に直接影響するであろう地域のニーズやシーズ、そしてそれらを活かし起業・創業の支援に強い関心をもっている。新事業と事業家の発掘、そして起業する資質を持った人材の育成を目的に、新事業創出研究会および企画書(戦略書)作成講座などを実施してきた。本研究発表では、新規事業の発掘と起業支援のための東三河ビジネスプランコンテスト 2001 につき報告し、これまでの活動と今後の展望を考察している。

はじめに

日本創造学会第 21 回研究大会にて、社会ネットワーク型産業育成の基本的考え方について東三河の創造的活動を事例に中野と片岡らで発表した。また、同学会第 23 回研究大会にて、新規事業そして事業家の発掘そして起業する資質を持った人材の育成を目的に行っている新事業創出研究会のエコマーケット分野を中野と片岡でまとめ、平成 13 年 3 月にはじめた企画書(戦略書)作成講座の実施結果などについて江面が発表した。本稿では平成 13 年度第 1 回東三河ビジネスプランコンテストについて報告し、これまでの活動と今後の展望を考察する。

1. 市民社会と社会ネットワーク型産業育成

起業家の独自の新事業は他の様々な事業と連鎖的な関係を生み出す。これは多くの企業のネットワークによる相乗効果として見ることができる。その企業集積と企業ネットワークによって地域の産業が形成されてきたものと考えられる。

一方、市民社会の事業組織として最近の NPO 組織とそのマネジメントについて関心が高まっている。本地域にも、まちづくり、環境、医療福祉などの分野で NPO 組織の活躍はめざましい。ハーバーマスの市民社会概念に基づいて考えるならば、今日の地域社会は地域を構成する行政と産業(農林水産業、工業、サービス業など、企業や教育研究機関を含む)そして市民の三者のネットワーク社会といえる。このネ

ットワーク社会における産業育成をわれわれは社会ネットワーク型産業育成と呼んでいる。

市民社会の生活に根ざす地域活性化や地域の産業・経済・環境・資源エネルギー・福祉医療・教育などの問題解決にはまず、この三者の良好なコミュニケーションが前提条件となる。よって異質なモノの交流の場を創造する必要がある。そして産業育成は単に新商品(製品やサービス)の開発や新技術の発明に留まるものではない。起業家が事業を起しその構想にもとづく企業の事業展開によって行政や産業や市民へ連鎖的な影響を与え、またこのネットワークによって企業が育成されるという相互作用があると考えられる。

したがって本研究は、起業家の構想力や思いもつかない事業遂行過程を生み出す独創性ととも、起業に潜む地域の行政・産業・市民がもつニーズとシーズ、そしてこれらを活かし新事業を創出し企業を起し産業を育成する過程とシステムに強い関心をもっている。

この実践的な研究によって産学官の連携やインキュベータの役割などを明確にし、社会ネットワーク型産業育成が地域の問題解決に貢献するシステムとして顕在化させたい。

2. 東三河ビジネスプランコンテスト 2001

株式会社サイエンスクリエイトに事務局を置き、コンテスト実行委員会(大学教員、弁理士、技術士、経営コンサルタント、会計士、税理士、マスコミ関係者 10 名)ならびに審査委員会(企業経営者、商工会議所、インキュベ

¹ Shingo KATAOKA: TOYOHASHI SOZO COLLEGE URL: <http://www.sozo.ac.jp>

² Kazuhisa NAKANO: Science Create Corporation URL: <http://www.tsc.co.jp/>

タ，金融機関などの関係者 10 名）を組織し，中小企業総合事業団平成 13 年度新事業開拓支援助成金交付により，コンテストを実施した。なお，東三河産業支援ネットワーク会議の後援をいただいた。

事務局へは 200 件におよぶ問合せと最終応募ビジネスプラン 40 件を戴き，平成 14 年 2 月に表彰式と記念講演を催し，東三河ビジネスプラン集 2001 を発行した。また，平成 14 年 7 月に第 2 回のコンテスト募集を開始する。

2.1 コンテストの目的

東三河地域を中心とした企業家精神旺盛なベンチャー企業，および創業を予定する個人・法人からビジネスプランを公募し，選考のうえ，投資家紹介，専門家支援，制度融資などの多面的なフォローアップを通して，そのビジネスプランの具体化を支援することをコンテストの事業目的とした。

2.2 応募資格と応募方法

新規性・独創性があるビジネスプランを持ち東三河地域において起業・創業を目指す個人（学生，社会人，主婦，シニアほか）または法人などで，平成 12 年 9 月起業・創業から平成 14 年内までに起業・創業を予定するものを応募資格とした。申込書と事業概要および企画書 10 頁を応募書類として応募期間（平成 13 年 9 月 17 日から 12 月 28 日まで）を設け，新聞，コミュニティー誌，FM 放送などで広報し，ポスターやインターネットで公募した。

2.3 審査方法

実行委員会は平成 14 年 1 月 14 日の書類審査で全応募書類の点検を行った。平成 14 年 1 月 17 日に審査会を開催し，書類審査を経た優秀候補 19 件の内 9 件のビジネスプラン発表にもとづき，審査委員会は最優秀賞（表彰状，賞金 30 万円）1 件，優秀賞（表彰状，賞金 10 万円）1 件，特別賞（表彰状，記念品）1 件の入賞者を決定した。

2.4 表彰と発表

コンテストの結果発表は，最優秀賞（表彰状：中部経済産業局長より授与，賞金 30 万円）1 件，優秀賞（表彰状：豊橋商工会議所会頭より授与，賞金 10 万円）1 件，特別賞（表彰状：賞品：鳥伊三オーベルジュ株式会社より授与）1 件の授与式と記念講演を平成 14 年 2 月 28 日（豊橋サイエンスコア）に行った。40 件の全応募ビジネスプラン概要と，その内の 19 件の優秀候補は企画書全文を東三河ビジネスプラン集 2001 に掲載し

表彰式の同日に発行した。

3. コンテスト結果の概要

3.1 応募者の概要

応募者は 3 人の女性を含む 40 代が 14 人（38%）ともっとも多く，30 代 8 人，50 代 7 人，20 代 6 人（それぞれに女性一人を含む）の順になった。女性は計 6 人であった。20 代の大学院生の応募者が計 2 人いた。

応募者の住所は，東三河の中核都市豊橋市，豊川市，御津町，設楽町に加え県境の静岡県三ヶ日町の方々であった。

図 1 年齢別応募者

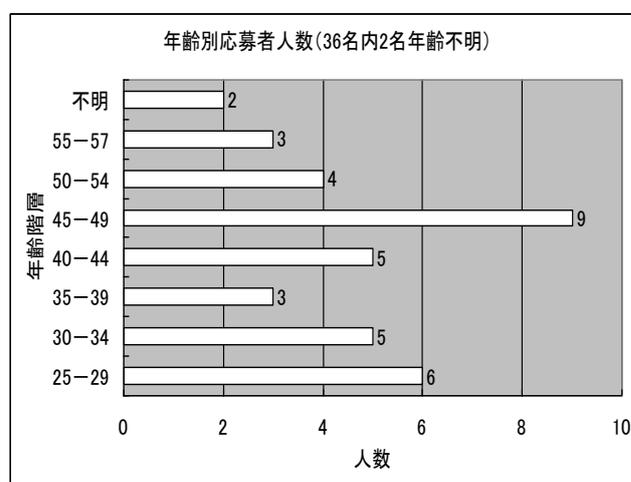


表 1 応募者の住所

応募者住所	人数
豊橋市	31
豊川市	3
御津町	1
設楽町	1
静岡県	1
合計	37

3.2 事業分野の概要

ビジネスプラン事業分野を表 2 の A) 中心市街地活性化事業から E) その他の 5 分野いずれかを応募者に選択させた。環境技術，中心市街地活性化で 51% となり，高齢者，農業の順になった。

その他の内分けは表 3 に示すとおり。D) の高齢者支援とはべつに医療・介護福祉・健康の分野や教育分野，新しい都市生活を提案する共同住宅開発などがあつた。また NPO 組織による福祉と環境の事業プランが 2 件あ

った。

表 2 公募事業分野と応募件数

公募事業分野(応募事業40件)	応募数	%
A) 中心市街地活性化事業	9	23%
B) 環境技術活用事業	11	28%
C) 農業農村支援事業	2	5%
D) 高齢者支援事業	5	13%
E) その他	21	53%

表 3 E)その他の分野

医療／介護福祉／健康機器製造販売3
省力機器設計製造2
建設物／設備の保全業2
都心住宅開発1
経営コンサルタント1
中小企業向け海外直接取引支援1
情報システム・サービス4
著作出版業／販促誌発行配送2
自転車の総合サービス業1
資格教育1
障害者IT導入教育1
NPO福祉サービス1
ダンススタジオ1
コンパニオン派遣業1
釣り具製造販売1

3.3 開発対象とプランの段階

開発対象は事業，システム，製品，サービスに同数の回答が表 4 のとおりあった。

また，事業プランの段階を応募者に問い，表 5 にその回答数を示す。実施計画段階（完成品と販路確定段階）9 件に対し，事業構想段階（調査やアイデア段階）14 件と基本計画段階（実験や試作の段階）9 件を含むと 22 件と半数以上になった。

そして表 6 の予定創業時期は 2001 年までが 30%，2002 年内が 65% となっている。以上は相互に関係する事項である。

開発対象の製品やサービスなどは，アイデア，試作品，完成品など事業段階の認識が明確な傾向がある。事業やシステムでは構想段階から実施段階までまちまちであった。しかし，事業プランの段階と予定創業時期は相関があるようだ。

表 4 開発対象

開発対象	件数
事業	8
システム	8
製品	8
サービス	8
合計	32
無回答	8

表 5 事業プランの段階

事業の段階	件数
事業構想段階	14
基本計画段階	8
実施計画段階	9
合計	31
無回答	9

事業	件数	事業構想段階	件数
システム	8	基本計画段階	8
製品	8	実施計画段階	9
サービス	8	合計	31
合計	32	無回答	9
無回答	8		

表 6 予定創業時期

創業予定(既開業)年月	件数	%
2000年9月	2	5%
2001年1月～6月	2	5%
2001年7月～12月	8	20%
2002年1月～6月	12	30%
2002年7月～12月	14	35%
不明	2	5%
合計	40	100%

3.4 事業化にあたっての課題

資金調達と販路開拓を 1 位 2 位の課題にあげる応募が多い。人材補充を課題 1 位にした応募は 1 件と少なく，3 位 4 位に集中し多い。技術支援は 1 位から 3 位まで 5 件から 7 件でほぼ同数であるが，この課題を 4 位にあげるものの内サービスを開発対象とした応募が 3 件そして事業が 4 件であった。これに対し，システムや製品を開発対象とする応募では上位にあげる傾向が見受けられた。

表 7 事業化にあたっての課題

順位	資金調達	人材補充	販路開拓	技術支援
1	13	1	12	5
2	7	4	13	7
3	9	8	4	5
4	1	12	1	11
5	2	3	0	0
合計	32	28	30	28

有効回答数33

考察と展望

プラン集に掲載された一部であるが，優秀ビジネスプラン候補にあがった 19 件のリストを表 7 に示す。サイエンスクリエイトは応募事業を追跡し，現在その内 22 件が創業，内 2 件が豊橋サイエンスコア内のスタートアップオフィスを活用している。

本地域の中核都市豊橋でも産学の連携で起業家育成の試みが進みはじめた。ビジネスは分野を問わず行政・産業・市民をネットワークし

地域を多方面で活性化する原動力として期待されている。そして本コンテストが新規事業の探査と起業に繋げる実績を着実に進め、起業家育成の一助となることを願う。

年齢性別・学生・社会人・主婦・高齢者の差別なく応募者を広く募るべきであろう。独創的ビジョンを持つビジネスプラン発表の場を創り、地域の人々の起業意欲と志しを高め、起業機会を開拓し、新事業を開発し、誘導し、立ち上げる道を拓く実績を重視し、応募者を増強す

ることが、新事業創出の基盤醸成とコンテストの原動力となる。

謝辞：広範な分野のビジネスプラン発表に対し公平な審査に勤めて戴いた審査委員長松浦元男氏はじめ、コンテスト実行委員会の精力的な募集活動と広報活動、そしてコンテストと並行して実施した企画書作成講座の講師諸兄とサイエンスクリエイト事務局スタッフの方々のご尽力に感謝もうしあげる。心より起業成功を祈り、さらに多くの応募を願うものであります。

表8 東三河ビジネスプラン集 2001 掲載リスト

除骨省力機製作—食肉用	最優秀賞	佐藤善宣 中島良次	1b.e
超低圧と毛管現象によるエポキシ樹脂注入法—ビル補修工事	優秀賞	浜崎収	13e
廃棄物処理システム装置の研究開発業	特別賞	大嶽育三 渡辺茂春	25b
釣り用ルアー製造販売		本多洋一	37e
廃食用油発電システム開発販売事業		白井孝明	48b
文章代行業—自分史作成・印刷・出版		榎本由香里	59e
福祉介護機器製作—人工呼吸器機能拡張機器・電動車椅子		大藤日善	70e
農業関連ビジネスコンサルタント事業		太田晴也	82c
情報配信業—外食産業の情報配信システム		夏日照夫	93d.e
イベントコンパニオン派遣		池田知美	101a
家庭用エレベータ開発企画業		近藤耕治	105d
住宅開発—コーポラティブハウス		今井正樹	116a
マルチメディア情報発信—会員制ゲームの商品購入		外山泰裕	126a
重曹ブラスト洗浄業務		藤原敏丈	133e
自転車サービス—自転車の JAF システム		畑中 勇	139a.e
Web 市場を利用した販売仲介開発—ガーデニング商品		村松東	146e
建物解体工事業—自走式産業廃棄物選別機		次山直樹	156b
海拓屋—パブルストリーマーによる三河湾浄化		山本茂雄	166b
店舗コンサルタント		廣濱誠一	175a

注1. 表は株式会社サイエンスクリエイト発行の東三河ビジネスプラン集 2001 に掲載した事業の名称、応募者名、頁、分類記号のa) 中心市街地活性化事業b) 環境技術活用事業c) 農業農村支援事業d) 高齢者支援事業e) その他を付し一覧している。

注2. 東三河地域の市町村は、豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原町、渥美町、赤羽根町、御津町、小坂井町、音羽町、一宮町、作手村、鳳来町、東栄町、設楽町、豊根村、稲武町、津具村、富山村の4市11町4村である。愛知県の東側に位置する東三河地域(2001年6月1日現在、地域人口約76万人、25万世帯、面積は約1,812キロ平方メートル)は、海から山間部に至る豊かな自然とともに東海道の中心に位置し地理的条件にも恵まれている。産業構造は第2次産業と第3次産業がほぼ均衡している。また愛知県の他地域に比べ第1次産業の割合が3.6%と高い。

参考文献および資料

- ①片岡眞吾 1998“創造的企業経営のための情報レオロジー”日本創造学会論文誌 Vol.2,pp.11-15.
- ②中野, 小木曾, 片岡 1999“社会ネットワーク型産業育成～東三河地域の創造活動事例報告”日本創造学会第21回研究大会論文集 pp.49-52 平成11年7月30日, 北陸先端科学技術大学院大学
- ③江面, 中野, 安江, 片岡 2001“社会ネットワーク型産業育成②—東三河の事業化と事業家の育成”日本創造学会第23回研究大会論文集 pp.62-65, 平成13年10月20日, 東洋大学
- ④新事業創出エコマーケット研究会報告書 2000年3月 株式会社サイエンス・クリエイト